



令和元年12月12日
陸幕広報室

国内における米海兵隊との実動訓練（ノーザンヴァイパー）の概要について

陸上自衛隊は、下記のとおり国内における米海兵隊との実動訓練（ノーザンヴァイパー）を実施しますので、お知らせいたします。

1 目的

陸上自衛隊と米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する場合における連携要領を実行動により訓練し、共同対処能力の向上を図る。この際、北海道の良好な訓練基盤を活用し、各種地形・気象下における空地連携による日米共同かつ諸職種協同の訓練及び実弾射撃を重視する。

2 期間

令和2年1月22日（水）～2月8日（土）

3 場所

北海道大演習場、矢白別演習場、帯広駐屯地及び航空自衛隊千歳基地

4 担任官

- (1) 陸上自衛隊
第5旅団長 陸将補 こせ みきお 小瀬 幹雄
- (2) 米海兵隊
第3海兵師団長 少将 ウィリアム M ジャーニー (William M. Journey)

5 訓練実施部隊

- (1) 陸上自衛隊
ア 部隊
第4普通科連隊、第5特科隊、第1対戦車ヘリコプター隊等
イ 装備品
上記部隊が保有する装備品（AH-1S、UH-1J含む。）
- (2) 米海兵隊
ア 部隊
(ア) 第4海兵連隊、第12海兵連隊第3大隊等
(イ) 第36海兵航空群等
イ 装備品
上記部隊が保有する装備品（高機動ロケット砲システム(HIMARS)、航空機(MV-22、AH-1Z、UH-1Y)含む。）

6 特色

- (1) 国内における米海兵隊との共同訓練としては過去最大規模の日米両部隊が参加し、共同対処能力を向上
- (2) 本訓練は、平成28年9月1日付の日米合同委員会合意に基づく、MV-22の訓練移転に係る事業として実施

(問い合わせ先)

陸上幕僚監部広報室 安達、三井（担当）
(03-3268-3111 内線40084)